

# 「狂犬病予防注射と各種届出の受付」を行います

生活環境課 ☎22-1314

## ■必ず予防注射を受けましょう！

狂犬病予防集合注射を裏面の日程で行います。狂犬病予防注射は「狂犬病予防法」ですべての飼い主に義務づけられていますので、最寄りの会場または動物病院で注射を受けてください。

## ■死亡届、登録変更届を忘れずに！

飼い犬が死亡した場合、登録事項に変更があった時は届出が必要です。集合注射会場でも届出を受け付けています。※死亡届には、犬鑑札、注射済票が必要ですが、紛失していても手続きができます。

## ■注射などの手数料と持ち物など

- 1. 対象犬** 生後91日以上の子犬  
※90日以下の犬は注射できません。
- 2. 持ち物** ・案内通知が届いた方 郵送された桃色の申請書  
・案内通知がない方 下記の申請書、犬鑑札(丸形か犬形)
- 3. 手数料** 新規登録、鑑札再交付の方は注射のほかに(1頭当たり)も手数料がかかりますのでご準備ください。  
・注射のみ(注射済票を含む) 3,100円  
・注射+新規登録(鑑札交付) 6,100円(内訳:注射料3,100円、登録料3,000円)  
・注射+鑑札再交付 4,700円(内訳:注射料3,100円、鑑札料1,600円)

※おつりのないようにご協力をお願いします。

## ■集合注射会場で受ける場合の注意点

- ・会場には、犬を制止できる人が連れてきてください。事故などを防ぐため、獣医師や係員の指示に従ってください。
- ・フンの後始末をする道具を持参し、フンをした場合は必ず持ち帰り、飼い主の責任で処理してください。



鑑札は必ず持参してください

## ■動物病院で受ける場合

(仙南地区の動物病院は裏面に記載)

- ・6月30日(金)までに接種するよう努めてください(狂犬病予防注射は生後91日以降に1度、次の年からは4~6月までに接種するよう法律で定められています)。
- ・動物病院には、電話で予約を行い、案内通知がきた方は同封された申請書(桃色の用紙)に記入し、案内通知がない方は下記申請書に記入の上、犬鑑札と一緒にお願いします。
- ・注射料金は集合注射と異なりますので、動物病院に直接お問い合わせください。

※申請書は記入漏れのないようにしてください。

き り と り 線

平成29年度 犬の登録 ・ 狂犬病 予防注射 申請書	登録年度 鑑札番号	平成	年度第	号	更新・新規・再交付	受付整理No. ※記入不要	
	フリガナ					電話番号 (携帯可)	
	所有者氏名					自治会名	
	所有者住所	白石市				鑑札の有無	有・無
	犬の種類				犬の名	犬の体格	大・中・小
	犬の生年月日		年	月	日生	性別	オス・メス
そのほか、犬の特徴となる事項							

## ■狂犬病予防注射 問診票 (健康チェック) ※注射前に必ず記入してください。

会場では、健康状態により注射ができない場合があります。問診時の参考にしますので該当する項目に○をしてください。

- 1 現在、愛犬に体調の悪い所はありますか? ..... はい・いいえ
- 2 現在、何か治療を受けていますか? ..... はい・いいえ
- 3 生理中・妊娠中・授乳中ですか? ..... はい・いいえ
- 4 1カ月以内に、ほかの予防注射を受けましたか? ..... はい・いいえ
- 5 狂犬病ワクチンや混合ワクチンで、副作用が起こったことはありますか? ..... はい・いいえ

※必ず鑑札もお持ちください。申請書の記入漏れや鑑札を持参されない場合は、受け付けが後になることがあります。



今月は、春に種を蒔き、夏には満開のマリーゴールドで県道105号越河・角田線、約1.500mに毎年彩りを添えている、「越河第9区自治会~平フラワー会~」の代表太齋元康さんと、大浦明夫さんに話を伺いました。

マリーゴールドは初心者でも種から開花させることができる植物。2人の話を参考に、皆さんもぜひ挑戦してみませんか。

生涯学習課 ☎22-1343 FAX 24-5377

con-edu@city.shiroishi.miyagi.jp http://www.city.shiroishi.miyagi.jp

## ★平フラワー会の軌跡

平成22年度に、県から地域美化運動に関する表彰を受賞した、「越河第9区自治会~平フラワー会~」。花の苗を購入せずに、毎年、自分たちが育てたマリーゴールドの種を使い、系譜をつなげています。

地区を「花で元気に」をモットーに、平成19年から活動を開始。地区住民が通勤・通学する際、満開の花に見送ってもらえれば1日を気持ちよく過ごせるのではないかと、ゴミなどの不法投棄があるこの県道沿いに花を植えることで、投棄防止にもつながるのではないかと考え、活動を始めて10年が経過しました。今では、すっかり問題も解消し、地区内外の人たちが開花の時期を心待ちにしています。

## ★マリーゴールドの育て方

太齋さんと大浦さんは、この県道沿いに植栽する苗6,000本をすべて種から育てています。まずは、発芽する可能性が高い種を選別することから始まり、2人に種から開花するまでの育て方のコツを伺いました。

①種を見分ける 種にも優劣があります。咲く可能性が高い、黒くて重い種を選びましょう。



▲発砲スチロールの容器に種を蒔きます

②種を蒔く 4月の八重桜が咲き始めたころが、種を蒔くのに一番適した時期(このころになると霜にあたる心配がなくなるため)。ホームセンターなどで販売している育苗ポットに種まき用の土を入れて発芽を待ちます(大量の種を蒔く場合は、発泡スチロールの容器の底に通水用の穴を空けて使用してもいいです)。



▲地区の皆さんで植栽。交流も深まります

③移し替え 芽が出て、茎に3枚ほど葉が出たら、苗をポットに移し替えます。苗が大きく育ちます。

④植栽 6月の小雨が降る時期が最適。プランターで咲かせるのも良いですが、地植えのほうが花ものびのびと育ち、元気に咲き誇りますので、オススメ! ただし、地植えの場合は土質が

重要です。培養土や追肥を混ぜ込んだ土に植えます。山砂は乾燥しやすいので適しません。

⑤開花 7~9月に満開を迎えます。咲き終わった花芽を摘むことで、長期間、開花を楽しめます。

⑥種を採る 11月になると花が枯れて種を付けます。種を採り、風通しの良い環境で保管します。翌年春が来たら、その種を蒔き、満開の花を咲かせましょう。

このように、開花までにはたくさんの手間がかかりますが、太齋さんは「苗を購入して植えるのも良いですが、一から育てることにより愛着が湧きます。また、愛情込めて育てた花の種を使っていることで、自分の子どものように感じます。大変な下準備があるからこそ、花がきれいに咲いたときの喜びはひとしおです」と話してくれました。

## ★花で笑顔に!

普段、皆さんが街中で何気なく目にするきれいな花は、誰かが植えて咲かせて...と、たくさんの努力があつてのもので、そんな想いの詰まった花だからこそ私たちがいつも癒されてくるのではないのでしょうか。

花が咲けば、人々が笑顔になります。人々が笑顔になれば、この城下町はより豊かになることでしょう。

あなたも、種から開花へ...そして人々の笑顔の担い手となりませんか? 「花」で「笑顔」あふれる白石に!!